

復興支援フォーラムニュース No. 141

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

【第139回ふくしま復興支援フォーラム／2018年11月8日・A0Z 小活動室1-2】

「今、求められるコミュニティの姿とは
～避難区域の図書館を考える～」

報告：福島県立図書館 専門司書 吉田 和紀

1 改めて考える図書館の役割

(1) 図書館は何をすところ

* 目的型から滞在型へ

(2) 求められる図書館の姿（役割）とは

- * 『買物籠をさげて図書館へ』 → 気軽に入ることができる施設へと変化
- * 読書（余暇）・学習（研究）施設から市民生活の一部としての空間へ
- * 図書館は全ての住民のものとして、地域の人々の生活になくてはならないものに

2 東日本大震災と図書館

(1) 図書館の被災状況

- * 当時、県内には59の自治体（設置29自治体）に59の図書館。
 - 1週間後の開館状況は4館（阿武隈高地2館＋会津2館）
 - 6か月後の開館状況は51館（休館は原発事故に伴う7館＋郡山市）
- * 何らかの被害を受けた福島県内の図書館 … 83%
 - 《建物の被害》
 - 天井部の落下と損傷
 - 崩壊壁のひび割れと剥離
- * 設備被害があった福島県内の図書館 … 67%

《設備の被害》

→設備被害の上位は、①書架 ②照明器具 ③空調機器

→書架被害の上位は、①木製非固定 ②スチール固定 ③スチール非固定

*資料の落下防止策をとっていた福島県内の図書館 … 22%

《とられていた防止策》

→落下防止シート、ブックキーパー付き書架、低書架、資料を置くに押し込む

書架の上部を使用しない、耐震書架、免震書架、スカート式書架等

(2) 図書館と情報

①図書館が求める情報

②図書館が提供（示す）する情報

③図書館がつくる情報

(3) 被災の中で見えたこと（図書館の資料に考える）

①資料の散逸を防ぐ

②図書館資料とレスキュー（除染、持ち出し、一時仮置き、復元）

③資料の空白期間（再開に向けて）

3 コミュニティの中の図書館

(1) 復興とともに図書館は何をするのか

(2) 復興の拠点となる図書館

*市民の拠り所（他の公共施設と異なる空間）

→人と人とのつながりがある。

(3) 自治体とともに成長する図書館

*高まる依存度と支える図書館ネットワーク

*図書館があるということ



＜第138回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等＞

2018年10月24日(水)、福島市AOZで、第138回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

ちよん・ひょうんしるさん(いやしカフェ店主、NPO 法人ふくかんねつと理事長)から、「福島復興に向けた国際的取り組み」について、報告をいただきました。

同会場には、関心のある市民20名が、参加して、熱心な質疑応答がなされましたが、会場で、文書で提出されたご意見・ご感想は以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★ ちよんさんの使命感を持って、アクティブに明るい活動に感服しました。その活動から見えてくる、風評被害へ立ち向かう方向性、地域農業の振興、六次化のツボにすごいと思いました。今後のご活躍にご期待申し上げます。(M. T)

★ 国際交流・異文化交流の最先端の、すぐれた実践の足跡、実績をうかがって感動しました。ちよんさんの抱擁力のあるお人柄、すぐれた実務能力もあかって力あるような気がする。4～5年後に係れる著作が、待ち遠しい思いでおります。できればこのご本の出版を早めていただければさいわいです。克服したはずの現地・地元人と異境人(異邦人)の差が、別の形で拡張しているとの印象も残った。それは、発想がより自由になったということであろうか。(S. I)

★ “であい”を大切にしている先生の人と人の“つながり”を大きくし、広い視野で見て、感じ、行動を発することは、素晴らしいなあと思います。(K. S)

★ こんな魅力的なおばちゃんの話聞くことができ、とてもしあわせです。本当に外国人なの？福島のなまりもあるようですが・・・？NPO、お金かかってスッカラカンというのは心配です。どうかいやしカフェとか、循環マルシェが大当たりして、大金持ちになりますように！せっかく福島で過ごした10年が最もしあわせと言っていたので、これから先も福島でもっともっと、ずっとずっと塩飽汗に過ごしていただきたいと思います。(S. S)

★ 小生、ちよんさんを知って10年以上になりますが、今回始めてじっくりお話を聞くことが出来ました。震災後の話はとても印象に残りました。(Y. I)

★ はじめて伺うことで、大変素晴らしい実践と思いました。外国人妻の方が、母親として、母語を子どもに教えることができず、母国に連れて行くことができないというお話がありました。日本の環境は、どうしてできたのだろうかと考えさせられました、表現の仕方の違いも感じられ、興味深かったです。(M. S)

★ ちよんさんの生き方で、草の根の交流に共鳴しています。これからも話し聞かせて下さい。昼食時に伺います。私の楽しみにしています。(K. I)

★ 今まで参加したふくしま復興支援フォーラムで、一番「幸せ」という言葉が聞かれた回だったと思う。キムチ村プロジェクトも、考え方もすばらしかった。福島大学に食農学類ができることもあって、若者がちよんさんのプロジェクトに触れる機会があればと思う。(T. K)

★ 鄭さんのコミュニケーション力の高さが色々な行動につながっていることを感じた。地方の良さを伝えるコミュニケーション力を、どう高めるかが、大きな課題であると思った次第。(H. S)

◆◆◆◆【会場カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第138回ふくしま復興支援フォーラム（10月24日）の会場で、カンパ3,000円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。（今野）

【会計報告】（2018.10.30現在）

|                       |            |            |                   |
|-----------------------|------------|------------|-------------------|
| 第1期（～2015.9）累計        | 収入214,746円 | 支出207,640円 | 残（繰越）7,106円       |
| 第2期（2016.10.27～）      |            |            |                   |
| 「収入」（2018.10.10までの累計） | 171,843円   |            | （第1期 繰越 7,106円含む） |
| 会場カンパ(2018.10.24)     | 3,000円     |            |                   |
| 計                     | 174,843円   |            |                   |
| 「支出」（2018.10.6まで累計）   | 119,280円   |            |                   |
| 計                     | 119,280円   |            |                   |
| 「残金（現在高）」 2018.10.20  | 55,563円    |            |                   |



<予告>

第140回（2018年11月22日（木） 18時30分～20時30分

テーマ 「復興に向けた観光物産関係の取り組みと課題」  
報告者 高荒 昌展 氏（福島県観光物産交流協会理事長）  
会場 福島市「市民活動支援サポートセンター」  
会議室B-1・2 チェンバおおまち3F（福島市大町4-15）

第141回（2018年12月4日（火） 18時30分～20時30分

テーマ 「福島相双復興推進機構（官民合同チーム）の活動状況について」  
報告者 須藤 治 氏（福島相双復興推進機構 専務理事）  
会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」  
大活動室3 MAXふくしま4F（福島市曾根田町1-18）

第142回（2018年12月17日（月） 18時30分～20時30分

テーマ 「原発被災自治体職員の実態について」  
報告者 澤田 精一 氏（自治労福島県本部 書記長）  
会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」  
大活動室1 MAXふくしま4F（福島市曾根田町1-18）